



写真a カフェテリアの料理は充実。いわゆる現地の「ピザ給食」ではなく、献立も豊富。お茶漬けの素も置いてある。生徒に人気／b 人工芝のグラウンド。学校の敷地は東京ドーム約2.5個分。部活も盛ん／c 最寄りの町 White Plains。全米屈指の高級住宅地。清潔・安全、自然もあり生活も便利。週末には外出可

入学時に英検2級レベルの英語力が必要

片方の親が外国人の方の場合もあります。

石井 御校の入学試験には、一般入試とAO入試がありますね。

野津 一般入試は2月に当校でのみ行われ、英語、数学、国語が各60分です。英語では、文法、長文読解のほか、エッセイもあります。AO入試は9月出願の秋季と、3月から4月半ばまでの出願の春季とがあり、日本でも受験できるため受験者が増えています。書類審査の後、2次試験では英語と国語の小論文と、英語・日本語での面接があります。

石井 この号が発売される3月は、まだ春季のAO入試の出願には間に合いますね。

入試問題は拝見しましたが、英語の小論文は難問です。こう言っているのはなんですが、御校は「慶應大学への抜け穴」的な存在ではないかと穿った見方をしていたのです（苦笑）が、まったく違いました。勉強が苦手だと、歯が立ちませんね。

野津 もちろんです。受験の条件にはしていませんが、入試時点までに英検2級の取得を推奨しています。巷では準2級を持っていない

高度な英語力を身に付けさせる仕掛け

いと言われているようですが（笑）。

出願時のエッセイは事実上、大人が手伝えることもできますが、試験では自分で書かないといけません。出来が大きく違っていると面接で追及されます。当たり前ですが、自分に実力がないと合格できません。少なくとも中学に入ってから2年以上はしっかりと準備することが必要です。当校に情実入学はありませんし、その必要もありません。しっかりと対策すれば合格できる内容です。

石井 昨年9月の入学式の式辞で「英語を身に付けなかったら、本校に学んだ意味がありません」とまでおっしゃっています。

野津 はい。そこまではしっかりと言う学院長は歴代にはいらつしやらないかと思いますが（笑）、本校は、慶應義塾の一貫教育校として、国際社会で活躍できる素晴らしい後輩を育てるための学校です。一貫教育校の中で唯一アメリカにあるのが当校ですから、英語を身に付けさせるのが当校の当然の使命であり、役割です。

石井 そのために、具体的にどう

現地取材

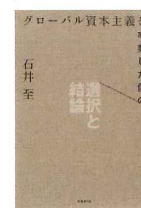
ベールに包まれた 「慶應義塾ニューヨーク学院」 の実態は？



石井 至

アンテナ・プレススクール代表

おいしい・いたる／1965年北海道札幌市生まれ。東京大学医学部卒（PhD）。当誌アドバイザー、駐日ドミニカ共和国大使館名誉相談役、駐日ルワンダ共和国大使館特別顧問、東京都市大学付属小学校学校評議員など歴任。『慶應幼稚舎』（幻冬舎）など著書多数。最新著は『グローバル資本主義を卒業した僕らの選択と結論』（日経BP社）。



前号まで「日本一のある学校」を連載させていただいたが、私の溢れる知的好奇心は、もはや日本一という名の「枠」に収まらなくなった。そこで今後は、世界に視野を広げて集めた情報をお届けしていこうと思う。

今回は「存在は知られているが、どういう学校であるかがよく知られていない」慶應義塾ニューヨーク学院（高等部）を紹介する。どうやったら入学できるのか、学校の様子はどうか、進路はどうなっているのかなど、本邦初公開の内容満載だ。

お話を聞かせてくれたのは



野津将史さん

慶應義塾ニューヨーク学院（高等部）学院長
のつ・まさし／1960年、島根県出雲市生まれ。慶應義塾大学大学院文学研究科修士課程修了。慶應義塾高等学校国語科教員、慶應義塾ニューヨーク学院国語科教員、入試部長、主事などを経て、2011年7月から現職。文学修士。

慶應義塾ニューヨーク学院（高等部）

SCHOOL DATA

所在地／3 College Road, Purchase, NY 10577 USA
電話／（米国の国番号1に続き）914-694-4825
最寄り駅／Harlem division of Metro North（マンハッタン Grand Central Terminal 等から乗車）の White Plains 駅からタクシーで約20分。
開校／1990年
生徒数／336名（男：185名、女：151名）（2012年1月現在）
募集人数／120名（第9学年（日本の中3に相当）、第10学年（日本の高1に相当）各約60名）
学校説明会／東京では年2回以上開催 ※詳細はHP参照
キャンパス見学／随時（要予約・Webフォームから申込み）
<http://www.keio.edu>



ているということですか？

野津 数で言えばそうですが、実は寮が満員で、定員分の生徒を受け入れられない状況です。元々、地元の駐在員のご家庭からの通学生を120人程度見込んだ定員数だったのですが、今は駐在員の数が減り、また年齢層も若くなったこともあり、通学生数が約30人になっています。人気がなくて定員割れしているわけではありませぬ（笑）。

石井 生徒は日本人ですか？

野津 基本的にはそうです。両親とも日本人のご家庭が多いですが、

いう取組みをしていますか？

野津 約6割以上の授業を英語で行っています。また、校内放送も日本語だけのものは禁止です。慶應大学への推薦入学での推薦点(合計145点)のうち、英語の比重を従前の5点から15点に高めて、生徒のモチベーションを上げています。

石井 生物の授業の板書を拝見しましたが、すごいですね。

野津 英語力を身に付けさせるために、わざわざ板書を多くしているようです。「生物のノートは、嫁入りのときに持っていくました」という卒業生もいました(笑)。

推薦での慶應大学進学が前提

石井 御校の卒業後の進路はどうなりますか？

野津 最近では、ほぼ全員が慶應大学への推薦で進学しています。一部、音楽や獣医学など慶應大学で学べないものを希望する生徒では他大学へ進学する例もあります。

石井 アメリカの大学への進学は、ほとんどないのですか？

野津 アメリカの大学に進学を希望するのであれば、本校は不利です。成績の評価が厳しいからです。同じ実力の生徒で、現地校よりも

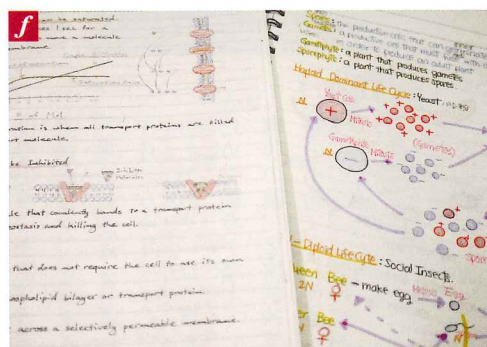
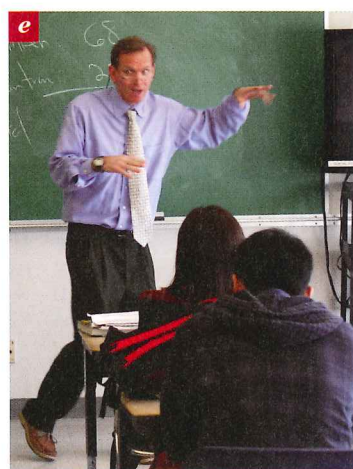
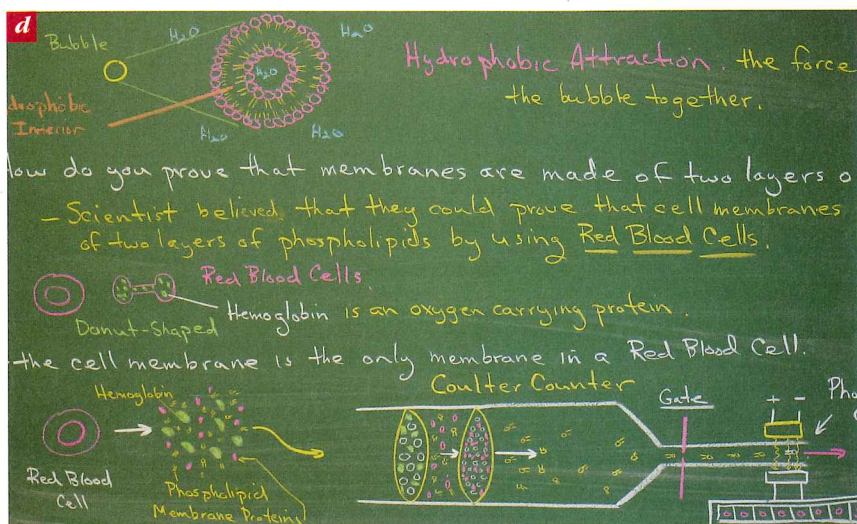
GPA(平均評定)が約0・4ポイント低くなると思います。

当校では、テストが60点未満だとF評価(赤点)になり、Fが3つ以上ある場合や、平均評定が基準以下だと留年です。留年を2回すると退学です。

石井 慶應大学医学部への推薦が毎年ほぼ2名いますね。医学部への推薦狙いで入学してくる生徒も

いるんじゃないですか？

野津 いるでしょう。ただ、医学部に進学するのは推薦点がほぼ1位・2位という生徒です。推薦点には、各学年の成績の他に、英語や勉強以外の生活態度やエキストラカリキュラアクティビティ(教育課程外活動)も考慮されますので、そういう生徒は勉強のみならず人柄もよく、非常に優秀です。



写真a 生物の授業の板書。プリントではなく、英語の勉強のためにわざわざノートに書かせる/e NYタイムスを使ったEconomics and Businessの授業/f「嫁入り道具」になるかもしれない(?)生物のノート

石井のAfter Interview

慶應NYは海外経験、自立、英語力を手に入れる現実的な選択だ

子どもに海外経験や英語を身に付けさせたいと思っても、ボーディングスクール(欧米の寄宿制中等教育学校)に子どもを送りだすのは、かなり敷居が高い。食べ物や合わないのではないかと、ホームシックにかかるのではないかと、心配は尽きないが、慶應NYならそういう心配は少ない。また、学費(寮費・食事代含む)も、スイスのボーディングスクール(年間約600万円)に比べると安く、初年度で約4万4千ドル(1ドル80円の計算で約350万円)。次年度以降は約4万ドル(約320万円)だ。

素朴な疑問として、「日本人だらけの環境で英語力がつくのだろうか?」とも思っていたが、自然と生徒が英語に力を入れるように、さまざまな仕掛けも施されている。英語「公用語」の会社まである今、英語や発言力はサバイバルに必須だ。慶應NYは、海外経験を積み、英語を身に付けさせるための現実的な選択ではないだろうか。

また、慶應NY出身者は就職に強いという。海外で寮生活したというネタがあるせいもあるが、外国人の先生方とのやりとりで、自己アピールや反対意見の主張がうまくなるそうだ。不況の今、就職することは重要だから、学校選びにはその観点も入れたい。